



## 2021年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月14日

上場会社名 小津産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7487 URL <https://www.ozu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今枝 英治

問合せ先責任者 (役職名) 理事管理本部長 (氏名) 三崎 剛志

TEL 03-3661-9400

定時株主総会開催予定日 2021年8月27日

配当支払開始予定日

2021年8月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年8月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期の連結業績(2020年6月1日～2021年5月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	33,922	17.1	868	71.8	950	66.3	724	26.9
2020年5月期	40,941	0.3	505	13.9	571	13.0	570	32.5

(注) 包括利益 2021年5月期 1,221百万円 (28.3%) 2020年5月期 951百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年5月期	86.40		4.7	4.0	2.6
2020年5月期	68.12		3.9	2.4	1.2

(参考) 持分法投資損益 2021年5月期 22百万円 2020年5月期 2百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	22,314	15,992	71.6	1,906.60
2020年5月期	25,042	14,944	59.6	1,782.74

(参考) 自己資本 2021年5月期 15,983百万円 2020年5月期 14,935百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年5月期	1,318	3,110	375	6,616
2020年5月期	253	2,316	69	2,569

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年5月期		0.00		21.00	21.00	175	30.8	1.2
2021年5月期		0.00		23.00	23.00	192	26.6	1.2
2022年5月期(予想)		0.00		23.00	23.00		32.1	

### 3. 2022年5月期の連結業績予想(2021年6月1日～2022年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	55.8	700	19.4	750	21.1	600	17.1	71.58

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

除外 1社(社名)アズフィット株式会社

詳細は、2020年12月10日公表の「特定完全子会社の一部株式譲渡に関するお知らせ」および2021年2月2日公表の「特定完全子会社の一部株式譲渡完了に関するお知らせ(開示事項の経過報告)」をご高覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期	8,435,225 株	2020年5月期	8,435,225 株
期末自己株式数	2021年5月期	52,158 株	2020年5月期	57,273 株
期中平均株式数	2021年5月期	8,381,784 株	2020年5月期	8,375,598 株

(参考)個別業績の概要

2021年5月期の個別業績(2020年6月1日～2021年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	10,961	6.2	446	15.5	543	20.9	571	
2020年5月期	10,321	13.5	386	10.2	449	7.5	488	66.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期	68.17	
2020年5月期	58.35	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2021年5月期	19,869	14,141	14,141	14,141	71.2	1,686.93		
2020年5月期	20,887	14,205	14,205	14,205	68.0	1,695.54		

(参考) 自己資本 2021年5月期 14,141百万円 2020年5月期 14,205百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、将来の業績を保証するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年6月1日～2021年5月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が企業活動のみならず、様々な分野へと波及しました。人々の行動様式の変容は、生産活動や消費活動に大きな影響を与えました。政府による各種政策の効果や海外経済の改善により、持ち直しの動きが期待されるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、経済の先行きは依然として不透明な状態にあります。

このような状況のもと、当社グループは新型コロナウイルスの感染予防のため、集合形式による会議、研修、出張の抑制、在宅勤務及び時差出勤等を推進し、感染リスクの低減を図りながら、「小津グループ中期経営計画2021」に掲げる経営基盤の強化と更なる成長ステージを目指し、営業活動を維持してまいりました。

また、家庭紙・日用雑貨事業を営むアズフィット株式会社の株式の80%をセンコーグループホールディングス株式会社に譲渡いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は339億22百万円(前期比17.1%減)、経常利益は9億50百万円(前期比66.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億24百万円(前期比26.9%増)となりました。

#### <不織布事業>

エレクトロニクス分野では、情報通信分野・製薬・車載用電子部品が堅調に推移し、年度後半からは東南アジアの工場稼働率が復調いたしました。しかしながら、年度前半は東南アジアの工場稼働率が低下していたこと、前年は新型コロナウイルス感染症の影響によりクリーンルーム用マスクの需要が急増したことの反動等により、前年に比べ、売上高は微減、利益面は増加いたしました。

メディカル分野では、衛生材料の販売が好調推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年第4四半期の販売が急増していたため、前年に比べ、売上高は横ばい、利益面は増加いたしました。

コスメティック分野では、東アジア市場向けの販売が増加に転じたものの、国内販売が低調に推移し、前年に比べ売上高は増加、利益面は減少いたしました。

小津(上海)貿易有限公司では、中国の工場稼働率が向上し、エレクトロニクス分野の需要が復調したため、売上高、利益面とも前年を上回りました。

除染関連分野につきましては、国内電力会社等に向けての販売活動を継続して実施した結果、売上実績がありました。

ウエットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、新型コロナウイルスの影響により除菌ウエット製品が好調を維持し、売上高、利益面とも前年を上回りました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、台風10号の上陸、九州豪雨、新型コロナ感染症の拡大に伴う飲食店等の休業・時短営業、フードロス削減機運の高まり等により、国内外ともに販売が減少したため、売上高、利益面とも前年を下回りました。

これらの結果、売上高は143億10百万円(前期比6.4%増)、セグメント利益5億79百万円(前期比39.6%増)となりました。

#### <家庭紙・日用雑貨事業>

当事業を担うアズフィット株式会社につきましては、新型コロナウイルスの影響で、マスクや除菌製品の需要が増加いたしました。

また、家庭紙・日用雑貨事業の基盤強化を実現するため、2021年2月2日付にて、アズフィット株式会社の株式の80%をセンコーグループホールディングス株式会社へ譲渡いたしました。

この結果、売上高は194億72百万円(前期比28.9%減)、セグメント利益2億25百万円(前期比352.7%増)となりました。

アズフィット株式会社の株式を80%譲渡したため、当連結会計年度の売上高、利益はアズフィット株式会社の第3四半期までの実績を反映しております。前期比は前連結会計年度通期の実績に対する増減率を記載しております。

#### <その他の事業(除菌関連事業および不動産賃貸事業)>

除菌関連事業を営むエンビロテックジャパン株式会社では、過酢酸製剤の知名度を上げる地道な活動と、販売代理店への販促活動並びに食品殺菌用途および畜産分野の防疫対策用途に向けた拡販に注力いたしました。前年に比べ、売上高は横ばいであったものの、経費削減に努めた結果、利益面は増加いたしました。

不動産賃貸事業につきましては、売上高、利益面とも前年を上回りました。

これらの結果、売上高は1億39百万円(前期比20.9%増)、セグメント利益は59百万円(前期比47.4%増)となりました。

- (注) 1. 日本プラントシーダー株式会社の決算期は2月末日のため、当連結会計年度には各社の2020年3月から2021年2月までの実績が、株式会社ディプロおよびエンピロテックジャパン株式会社の決算期は3月末日のため、当連結会計年度には各社の2020年4月から2021年3月の実績が反映されております。
- (注) 2. アズフィット株式会社の株式の80%を2021年2月2日付にて、センコーグループホールディングス株式会社へ譲渡いたしました。このため、当連結会計年度におきましては、アズフィット株式会社の実績は、第3四半期までを連結子会社として、第4四半期を持分法適用会社として反映しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は、「現金及び預金」40億46百万円の増加、「受取手形及び売掛金」51億50百万円の減少等により、前期比18億33百万円減少の119億4千万円となりました。固定資産は、「投資有価証券」8億51百万円の増加、「土地」9億33百万円の減少、「建物及び構築物(純額)」4億79百万円の減少等により、前期比8億94百万円減少の104億9百万円となりました。

この結果、資産合計は前期比27億28百万円減少の223億14百万円となりました。

### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は、「1年内返済予定の長期借入金」8億50百万円の増加、「支払手形及び買掛金」28億62百万円の減少等により、前期比26億59百万円減少の50億55百万円となりました。固定負債は、「長期借入金」8億50百万円の減少、「社債」3億円の減少等により、前期比11億16百万円減少の12億66百万円となりました。

この結果、負債合計は前期比37億76百万円減少の63億22百万円となりました。

### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前期比10億47百万円増加の159億92百万円となりました。これは「利益剰余金」5億41百万円の増加、「その他有価証券評価差額金」4億81百万円の増加等によるものであります。

- (注) アズフィット株式会社の株式の一部を譲渡したことにより、同社を連結子会社から持分法適用関連会社へ変更しております。これに伴い、資産、負債が減少しております。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ40億46百万円増加し、66億16百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と、それらの増減の要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は13億18百万円(前期比10億64百万円増)となりました。収入の主な内訳は、「売上債権の増減額」17億82百万円、「税金等調整前当期純利益」8億3百万円、支出の主な内訳は、「仕入債務の増減額」10億3百万円、「たな卸資産の増減額」6億12百万円であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は31億10百万円(前期は23億16百万円の使用)となりました。収入の主なものは、「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入」33億58百万円、支出の主なものは、「無形固定資産の取得による支出」1億77百万円であります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億75百万円(前期は69百万円の獲得)となりました。支出の主なものは、「短期借入金の純増減額」2億円であります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、下表のとおりであります。

	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期
自己資本比率(%)	62.5	62.6	59.6	71.6
時価ベースの自己資本比率(%)	76.5	62.7	60.4	72.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	8.6	7.4	11.9	2.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	20.3	27.2	18.2	97.9

- (注) 1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出

- (注) 2. 自己資本比率：自己資本／総資産

(注) 3. 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

＊株式時価総額：期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式数控除後）

(注) 4. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

(注) 5. インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

＊キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローの数値

＊有利子負債：連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債

＊利払い：連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額

(注) 6. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を2019年5月期の期首から適用しており、2018年5月期に係る自己資本比率、時価ベースの自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

#### (4) 今後の見通し

ワクチン接種による新型コロナウイルス感染症の収束への期待はあるものの、変異株の出現による感染拡大と、経済活動への影響の長期化が懸念される等、依然先行きは不透明感が強い状況です。

かかる状況下、当社グループは、2021年6月から2024年5月までの3カ年に亘る新中期経営計画「中期経営計画2024 (Leap into the Innovation)」に掲げる「『紙と不織布』の技術力を基盤とした『価値創造企業』への飛躍」を実現すべく、当社グループ一丸となって取り組んでまいります。

2022年5月期における見通しは以下のとおりです。

##### (不織布事業)

エレクトロニクス分野におきましては、需要増加が期待できる高速データ通信デバイス等の通信事業分野や車載用電子部品等への積極的な営業を展開してまいります。メディカル分野におきましては、衛生意識の高まりから、引き続き需要が見込める除菌ウエット製品等の衛生材料の販売を推進するとともに、新製品の開発、販路の拡大を図ってまいります。コスメティック分野におきましては、東アジア市場向けの販売で鈍化が予想されます。国内販売においても、訪日外国人の減少等により需要の急速な回復は期待できないものの、グループシナジー効果を発揮し、新事業、新商品の創造に注力してまいります。除染関連分野につきましては、品質・性能の向上や用途開発を進め、電力会社等での採用事例の積上げを図ってまいります。株式会社ディプロにつきましては、2020年2月3日に竣工いたしました新本社工場での製造機能を活用するとともに、生産性向上策にも積極的に取り組み、引き続き需要が期待できる除菌ウエット製品を中心に、営業力を強化し提案型ビジネスを推進してまいります。日本プラントシーダー株式会社におきましては、天候不順、自然災害等の影響が懸念されるものの、落花生やコーンなどの大粒子テープの普及に注力するとともに、新たな播種機材の開発を進め、販路開拓に取り組んでまいります。

##### (その他事業)

除菌関連事業を営むエンピロテックジャパン株式会社におきましては、食品殺菌用途および、畜産分野の防疫対策用途として過酢酸製剤の販促活動を積極的に行ってまいります。

これらの結果、2022年5月期の通期連結業績予想は、売上高150億円、営業利益7億円、経常利益7億50百万円、親会社に帰属する当期純利益6億円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準により連結財務諸表を作成しております。

国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外における今後の動向を踏まえて判断する予定であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,569,712	6,616,151
受取手形及び売掛金	8,380,532	3,230,150
商品及び製品	1,507,900	1,134,032
原材料	602,081	661,432
その他	677,993	262,975
貸倒引当金	△183	△372
流動資産合計	13,738,037	11,904,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,856,774	6,217,032
減価償却累計額	△3,453,682	△3,293,571
建物及び構築物(純額)	3,403,091	2,923,460
機械装置及び運搬具	2,107,048	2,190,809
減価償却累計額	△1,369,076	△1,550,292
機械装置及び運搬具(純額)	737,971	640,516
土地	2,272,153	1,339,010
その他	549,995	508,507
減価償却累計額	△334,081	△354,604
その他(純額)	215,913	153,903
建設仮勘定	28,666	—
有形固定資産合計	6,657,796	5,056,890
無形固定資産		
その他	87,530	98,748
無形固定資産合計	87,530	98,748
投資その他の資産		
投資有価証券	3,980,767	4,832,096
長期貸付金	56,528	5,451
繰延税金資産	23,261	25,133
その他	508,116	393,423
貸倒引当金	△9,076	△1,801
投資その他の資産合計	4,559,597	5,254,302
固定資産合計	11,304,925	10,409,942
資産合計	25,042,962	22,314,313

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,887,229	2,024,846
短期借入金	1,670,000	1,270,000
1年内償還予定の社債	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	—	850,000
未払法人税等	184,567	28,466
賞与引当金	41,887	30,103
その他	931,547	552,192
流動負債合計	7,715,232	5,055,608
固定負債		
社債	500,000	200,000
長期借入金	850,000	—
繰延税金負債	777,249	860,099
退職給付に係る負債	173,775	141,119
その他	82,332	65,230
固定負債合計	2,383,357	1,266,450
負債合計	10,098,589	6,322,058
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,385,463	1,388,866
利益剰余金	10,449,393	10,991,018
自己株式	△67,719	△61,720
株主資本合計	13,089,351	13,640,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,852,571	2,333,690
為替換算調整勘定	△6,220	9,052
その他の包括利益累計額合計	1,846,350	2,342,743
非支配株主持分	8,670	9,131
純資産合計	14,944,372	15,992,254
負債純資産合計	25,042,962	22,314,313



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
売上高	40,941,643	33,922,714
売上原価	34,859,635	28,265,158
売上総利益	6,082,007	5,657,555
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,981,928	1,512,906
貸倒引当金繰入額	—	1,467
役員報酬	251,491	227,068
給料及び手当	1,414,024	1,357,287
賞与引当金繰入額	28,554	11,780
福利厚生費	286,676	274,960
退職給付費用	55,246	68,310
減価償却費	87,928	110,340
賃借料	110,403	88,600
その他	1,360,023	1,136,151
販売費及び一般管理費合計	5,576,277	4,788,874
営業利益	505,730	868,680
営業外収益		
受取利息	3,670	2,745
受取配当金	64,487	72,319
持分法による投資利益	—	22,010
その他	22,477	33,119
営業外収益合計	90,635	130,196
営業外費用		
支払利息	13,795	13,618
売上割引	3,033	2,747
持分法による投資損失	2,931	—
為替差損	2,782	10,648
貸倒引当金繰入額	—	18,468
その他	2,303	3,027
営業外費用合計	24,846	48,510
経常利益	571,519	950,366
特別利益		
固定資産売却益	246,569	2
投資有価証券売却益	38	0
ゴルフ会員権売却益	1,100	—
受取保険金	1,544	—
保険戻戻金	—	6,174
特別利益合計	249,252	6,177
特別損失		
固定資産除却損	3,799	2,307
投資有価証券評価損	—	1,102
子会社株式売却損	—	143,084
子会社株式評価損	—	6,840
特別損失合計	3,799	153,335
税金等調整前当期純利益	816,972	803,208
法人税、住民税及び事業税	270,224	102,121
法人税等調整額	△20,523	△23,545
法人税等合計	249,701	78,575
当期純利益	567,270	724,632
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△3,254	461
親会社株主に帰属する当期純利益	570,524	724,171

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
当期純利益	567,270	724,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	388,325	496,875
為替換算調整勘定	△3,869	15,273
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△15,756
その他の包括利益合計	384,456	496,392
包括利益	951,726	1,221,025
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	954,981	1,220,564
非支配株主に係る包括利益	△3,254	461

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,322,214	1,380,514	10,037,914	△76,083	12,664,559
当期変動額					
剰余金の配当			△159,046		△159,046
親会社株主に帰属する当期純利益			570,524		570,524
自己株式の取得				△54	△54
自己株式の処分		4,949		8,418	13,367
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4,949	411,478	8,364	424,791
当期末残高	1,322,214	1,385,463	10,449,393	△67,719	13,089,351

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,464,245	△2,351	1,461,893	11,925	14,138,378
当期変動額					
剰余金の配当					△159,046
親会社株主に帰属する当期純利益					570,524
自己株式の取得					△54
自己株式の処分					13,367
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	388,325	△3,869	384,456	△3,254	381,202
当期変動額合計	388,325	△3,869	384,456	△3,254	805,993
当期末残高	1,852,571	△6,220	1,846,350	8,670	14,944,372

当連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,322,214	1,385,463	10,449,393	△67,719	13,089,351
当期変動額					
剰余金の配当			△175,936		△175,936
親会社株主に帰属する当期純利益			724,171		724,171
自己株式の取得				△138	△138
自己株式の処分		3,403		6,137	9,541
連結範囲の変動			△6,609		△6,609
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3,403	541,625	5,998	551,027
当期末残高	1,322,214	1,388,866	10,991,018	△61,720	13,640,379

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,852,571	△6,220	1,846,350	8,670	14,944,372
当期変動額					
剰余金の配当					△175,936
親会社株主に帰属する当期純利益					724,171
自己株式の取得					△138
自己株式の処分					9,541
連結範囲の変動	△177,540		△177,540		△184,149
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	658,659	15,273	673,932	461	674,393
当期変動額合計	481,119	15,273	496,392	461	1,047,881
当期末残高	2,333,690	9,052	2,342,743	9,131	15,992,254

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	816,972	803,208
減価償却費	299,153	521,794
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,757	△4,263
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,946	△11,784
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,645	13,390
受取利息及び受取配当金	△68,158	△75,065
支払利息	13,795	13,618
為替差損益(△は益)	2,924	△7,805
持分法による投資損益(△は益)	2,931	△22,010
有形固定資産売却損益(△は益)	△246,569	△2
有形固定資産除却損	3,799	2,307
投資有価証券売却損益(△は益)	△38	73,084
売上債権の増減額(△は増加)	△2,048,262	1,782,066
たな卸資産の増減額(△は増加)	156,008	△612,474
仕入債務の増減額(△は減少)	1,055,575	△1,003,636
未払消費税等の増減額(△は減少)	32,225	38,078
その他の資産の増減額(△は増加)	139,121	52,608
その他の負債の増減額(△は減少)	184,196	△96,447
その他	15,954	△17,362
小計	361,574	1,449,305
利息及び配当金の受取額	68,022	74,980
利息の支払額	△13,955	△13,459
法人税等の支払額	△163,840	△192,652
保険金の受取額	1,544	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	253,345	1,318,173
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,855,097	△136,453
有形固定資産の売却による収入	401,008	19
無形固定資産の取得による支出	△43,700	△177,274
投資有価証券の取得による支出	△9,211	△9,276
投資有価証券の売却による収入	104	0
貸付けによる支出	△300	—
貸付金の回収による収入	1,496	26,996
定期預金の払戻による収入	200,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	3,358,879
その他	△11,163	47,902
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,316,865	3,110,792
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	△200,000
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△20,000	—
自己株式の取得による支出	△54	△138
配当金の支払額	△159,047	△175,816
リース債務の返済による支出	△1,618	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	69,279	△375,955
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,685	△6,571
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,996,925	4,046,439
現金及び現金同等物の期首残高	4,566,637	2,569,712
現金及び現金同等物の期末残高	2,569,712	6,616,151

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う商品・製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、商品・製品・サービス別のセグメントから構成されており、「不織布事業」、「家庭紙・日用雑貨事業」の2つを報告セグメントとしております。

「不織布事業」は、不織布製品の加工、販売及び輸出入を行っております。「家庭紙・日用雑貨事業」は、家庭紙・日用雑貨の卸売、企画販売を行っております。

なお、当連結会計年度において、アズフィット株式会社の株式の一部を譲渡し、連結子会社から持分法適用会社へ変更しております。このため、当連結会計年度の家庭紙・日用雑貨セグメントには、同社の第3四半期までの実績が反映されております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・日 用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,456,495	27,369,991	40,826,486	115,156	40,941,643	—	40,941,643
セグメント間の内部売上高又は振替高	48,911	22,216	71,128	124,603	195,731	△195,731	—
計	13,505,406	27,392,208	40,897,614	239,760	41,137,375	△195,731	40,941,643
セグメント利益	415,388	49,847	465,236	40,637	505,873	△143	505,730
セグメント資産	9,032,316	7,803,086	16,835,403	668,970	17,504,374	7,538,587	25,042,962
その他の項目							
減価償却費	209,111	64,600	273,712	25,440	299,153	—	299,153
有形固定資産の増加額	1,913,060	688,174	2,601,235	3,581	2,604,816	—	2,604,816

当連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・日 用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上 高	14,310,969	19,472,506	33,783,476	139,238	33,922,714	—	33,922,714
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	190,622	34,947	225,570	106,247	331,817	△331,817	—
計	14,501,592	19,507,454	34,009,046	245,485	34,254,531	△331,817	33,922,714
セグメント利益	579,856	225,637	805,494	59,881	865,376	3,304	868,680
セグメント資産	15,569,362	—	15,569,362	1,480,480	17,049,842	5,264,470	22,314,313
その他の項目							
減価償却費	438,559	33,196	471,756	50,038	521,794	—	521,794
有形固定資産の増 加額	150,436	—	150,436	8,347	158,784	—	158,784

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△143	3,304

セグメント資産

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産(注)	7,538,587	5,264,470

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない資産であります。

3. セグメント利益及び資産は、連結財務諸表の営業利益及び資産合計と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
オーケー株式会社	5,023,433	家庭紙・日用雑貨事業
株式会社ココカラファインヘルスケア	5,006,747	家庭紙・日用雑貨事業

当連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
オーケー株式会社	3,820,097	家庭紙・日用雑貨事業
株式会社ココカラファインヘルスケア	3,817,780	家庭紙・日用雑貨事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり純資産額	1,782.74円	1,906.60円
1株当たり当期純利益金額	68.12円	86.40円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	570,524	724,171
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	570,524	724,171
期中平均株式数(株)	8,375,598	8,381,784

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。